
隣のお兄ちゃん

綾椰

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

隣のお兄ちゃん

【Nコード】

N1658D

【作者名】

綾椰

【あらすじ】

高校2年生の由美。が隣のお兄ちゃん（輝樹）に調教されていく話

1・始まり

「んゝ…中々いいの無いな。」

今日輝樹は陽太と一緒にゲームセンターに遊びに来ていた。

…いいUFOキャッチャーを探しているらしい。

「つまんねえなあゝ。ナンパでも行っちゃう？笑」

「んゝ？…あッ あれよくない？」

「なんか言えよなあ 笑

どれどれゝ？…ッてお前いつからそんな趣味に（笑」

輝樹が見ていたのは大きな熊のぬいぐるみだった。

チャリンッ

「いいの02 妹ちゃんにあげるんだよ」と言つと楽々GETする

「妹ちゃんって？ああ…由美ちゃんか」

由美とは本当の妹ではなく輝樹の隣に住む女の子だ

「そうそう 由美喜ぶだろうなあ」

「輝…マジで由美ちゃん好きだなあゝ

俺には厳しいくせに 笑」

「うつせえ 笑」

チャラチャラ〜

陽太の携帯が鳴る

「あ バイトだ。」

ピッ

「えッ マジすか?…うーん……」

(なんかあつたのかな?)

「まあいいですよ じゃあ今から行きま〜す」
ピッ

「なんかあつたのか?」「今からバイト入れる?だって。
ッて事で行ってきます 笑」

「マジで? 行ってきますじゃねえよ 笑」

「ゴメン02 今月ピンチでさ
じゃあな」

ブーン…

陽太はバイクでバイト先に向かって行ってしまった…。

「まじかよ…。つまんねえなあ
しょうがない。大人しく帰ろう…。」

ゲームセンターから家までは10分程。
地元の友達と遊ぶのは遠出しなくていいから便利だ。
さらに輝樹の家は101号室

あっと言う間に家に着いた。

ガチャッ

「ただいま」

「おかえり」。今日は早かったのね。まだ5時よ？」

「いきなり陽太がバイト入ったとかいいやがつてよ」

「つてあんたその熊どうしたの？笑」

「ああ…これ由美にいいかなと思って／＼」

「あッ！そおいや今日由美ちゃんが来てたわよ。
今いないッて言ったらかえっちゃったけど。」

「そおなんだ？じゃあ今から行ってくるわ。」

「あんたも忙しいわねえ。笑
行つてらっしゃい」

由美は隣の部屋なので30秒もかからないのですぐついた。

（由美喜ぶかなあ？／＼）

ピンポン

……………。

（いないのかな？）

ガチャッ！

「あつ 開いてるじゃん

不用心な…」

といいながら入っていく。

「…由美…？」

とりあえず熊を置いて中を進んで行く輝樹

「えッ！？」なッなんで

輝樹がびつくりするのも無理はない

由美は裸で寝ていたのだ。

輝樹は由美のそばに座りこむ

（やっぱかわいいな）

そこでなにげなく携帯をしてみる。

…そこには18禁のサイトが繋がったままだった。

「な！？これって…Hなサイトじゃ…」。

由美ッて意外とエロいんだ」

「…」。

（どおしよう。もお起こしちゃおうかな？
こんなチャンスなかなないし…）

輝樹は由美を揺さ振る。

「ん…うーん。…！？
えッ おッお兄ちゃん！？
なっなんているの／＼」

「ぬいぐるみあげようと思ってさ」

「え…ッてゆーか恥ずかしいから見ないでよお／＼」
「やだ 由美かわいいもん」

そう言いながら由美の手を持って押し倒す。

「えッ！？ちよっとお兄ちゃん？やめてよ〜！」

由美は必死に抵抗するが男の力にはかなわない。

輝樹は耳元でささやく

「ねえ…裸で何してたの？」

もしかしてオナニーしてた？

「

由美の顔が真っ赤になる

「ちッ違っもん／＼」

すると輝樹が由美の手を頭の上まで持っていき左手で押さえつけてしまう。

そして右手で割れ目をなぞる。

そこにはまだたくさんの愛液で潤っていた。

輝樹は人指し指で掻き回す
グチュッグチュッ

「あッああんッ！
お…兄ちゃ…ああんッ」

「すっげえ濡れてるよ？
体は正直だね？」

「んッ、そッそんなこと言わないで、あんッ」
さらに輝樹は中を掻き回す

（このままヤッちゃおっかな…）
と思う輝樹だったが重大なことに気付く
（あ…！ゴムがない！！）
やっぱ生はダメだよ…。まあまたチャンスはあるだろ。）

輝樹はふいに今まで動かしていた指を引き抜く

「お兄…ちゃん？」

「ごめんな、こんな無理矢理。」
と言い部屋をでる輝樹。
部屋には由美一人が残される。

「お兄ちゃんの…ばか」

いきなり愛撫を止められ物足りない由美。
本当は今までにない快感をもつと感じたかったのだ。

この事があつてから由美は輝樹に対して以前と同じ様に思えなくな
っていく…。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1658d/>

隣のお兄ちゃん

2010年10月26日04時47分発行